



# シラバス

授業科目及講義内容

共立高等看護学院

2023年度43期生 3年次



# 3年次 評価科目及び評価方法

(2023年度)

	評価科目	単位 (時間数)	評価方法	評価時期		評価科目	単位 (時間数)	評価方法	評価時期
				終講後					終講後
基礎分野	統計学	1(30)	筆記試験	○	専門分野Ⅱ	老年看護学実習Ⅱ	2(90)	実習評価	○
	社会学	1(30)	レポート評価	○		成人看護学実習Ⅲ	2(90)	実習評価	○
	教育学	1(30)	レポート評価	○		精神看護学実習	2(90)	実習評価	○
	外国語Ⅲ(英語)	1(30)	筆記試験	○					
	保健体育Ⅲ	1(20)	総合評価	○					
専門基礎	保健医療論Ⅱ	1(15)	総合評価	○	統合分野	看護管理	1(20)	総合評価	○
	公衆衛生学	2(30)	筆記試験	○		看護技術演習	1(15)	総合評価	○
	社会福祉	2(45)	レポート評価	○		地域看護活動論Ⅱ	1(30)	筆記試験	○
専門分野Ⅰ	看護学概論Ⅱ	1(20)	レポート評価	○					
	精神臨床看護Ⅰ	1(30)	筆記試験	○		地域看護学実習	2(90)	実習評価	○
	精神臨床看護Ⅱ	1(30)	筆記試験	○		統合実習	2(90)	実習評価	○

		単位	科目
講義	筆記試験	7単位	6科目
	レポート評価	5単位	4科目
	総合評価	4単位	4科目
臨地実習		10単位	5科目
3年次合計		26単位	19科目

科目名	保健体育Ⅲ(キャンプ)		授業形式	講義、校外活動
履修年次	3年 前期		単位数(時間数)	1単位(20時間)
授業担当者	川村協平	実務経験と 関連資格	NPO法人幼児野外教育研究会共同代表 山梨大学教育学部名誉教授(野外教育学)	
<b>&lt;到達目標&gt;</b>				
<p>1. 野外活動を通じた身体活動、集団生活の体験から、自己の生活や心身の健康について考えることができる。</p> <p>2. 自然との好ましい関わりを体験し、仲間と心地よい生活を送るために、自己と他者の役割を意識しながら行動することができる。</p>				
<b>&lt;授業内容&gt;</b>				
<p>第1回キャンプオリエンテーション(学内) 2H</p> <p>第2回キャンプオリエンテーション(学内) 2H</p> <p>第3回～第5回(1日目) グループ活動 6H</p> <p>第7回～第8回(2日目) グループ活動 6H</p> <p>第9回～第10回(3日目) グループ活動 4H</p>				
<b>&lt;授業方法&gt;</b>				
<p>例年2泊3日の野外活動を経験する。</p> <p>キャンプの活動は3年生は3学年のみ、1、2年生は合同の縦割り班別行動となる。各班に1名のカウンセラーがつく。</p> <p>場所は、丹波山、八ヶ岳、朝霧、高遠、武田の杜(健康の杜)等のキャンプ場のいずれかで行う。</p> <p>事前に「保健体育全体オリエンテーション」2H 「キャンプオリエンテーション」2Hがあるため、必ず参加すること。</p>				
<b>&lt;成績評価の基準&gt;</b>				
<p>授業の出席および授業態度と提出物で合格・不合格を評価する。</p> <p>キャンプ終了後、体験を振り返ってレポートを記載する。表紙に、テーマ・期生・No.・氏名を記入する。</p> <p>レポートはA4サイズ800字以上、レポートテーマ「キャンプ前の私とキャンプ後の私」を指定の期日までに提出する。</p>				
<b>&lt;必携図書&gt;</b>				
<b>&lt;自己学習のポイント及び参考図書&gt;</b>				
<p>事前学習として野外関連の文献を読むことを勧める。</p>				
<b>&lt;履修上の注意点&gt;</b>				
<p>事前準備として健康管理・備品の準備を行う。</p> <p>また安全のため、日常生活でできるウォーキングや自転車など、筋力トレーニングをしておく。</p>				
<b>&lt;学生に向けてのメッセージ&gt;</b>				
<p>野外活動を通して、自然・仲間・自分自身のすばらしさを感じましょう。</p>				

科目名	看護学概論Ⅱ		必修/選択の別	必修
授業担当者	河西 光子	実務経験と 関連資格	河西(看護専任教員 看護師 病院勤務8年)	
履修年次	3年 前期		評価方法	レポート評価
単位数(時間数)	1単位(20時間)		授業形式	講義 演習
<b>&lt;到達目標&gt;</b>				
1. これまでの看護実践及び講義, 理論と関係づけながら, 理論化し自己の看護の核となる人間観・社会観・患者観を明らかにし, 看護観を構築する。				
<b>&lt;授業内容&gt;</b>				
第1回・第2回 個人作業とグループワーク(講義・演習) 4H				
第3回・第4回 看護観の基盤になる内容を文章化する。レポート作成(演習) 4H				
第5回 人間, 健康, 患者, 看護についての(講義) 2H				
第6回～第10回 自己の看護観の成文化。レポート作成(演習) 10H				
<b>&lt;授業方法&gt;</b>				
第1～2回は個人作業とグループワーク。その後は各自で看護観の成文化に向けてレポート作成を行う。レポート作成は第3回～4回, 第6回～10回。第5回は講義を行う。				
<b>&lt;評価方法の詳細&gt;</b>				
授業時間の2/3以上の出席をもってレポート評価を受ける資格が得られる。 レポートは評価基準に基づいて評価します。評価基準は授業の中で提示します。				
<b>&lt;必携図書&gt;</b>				
特にありません				
<b>&lt;自己学習のポイント及び参考図書&gt;</b>				
総合実習の実習要項に記載されている, 参考文献一覧から自分の看護観を深められるものを選択し読むこと。				
<b>&lt;履修上の注意点&gt;</b>				
看護観を作成する期間は1週間です。授業時間を大切にしながら集中して取り組んでください。 自己の看護観の成文化に向けて, 自分の3年間の実習での学びや体験がわかる記録物を持参するとよいでしょう。3年次の講義資料やレポートは自己の考えを広げる貴重な資料です。 (教育学のレポート・社会福祉演習のレポート・指導観レポートなど) 看護観レポートを作成する際の参考にしてみましょう。				
<b>&lt;学生に向けてのメッセージ&gt;</b>				
看護には正解はありません。今まで経験したことや学んできたことから, 自分自身のものの見方や考え方に気づく授業にして欲しいと思います。自己の看護の哲学を言葉で表現し, 文章に表わしていく貴重な時間にしていきましょう。				

科目名	地域看護活動論Ⅱ		必修/選択の別	必修
授業担当者	宮川 江里	実務経験と 関連資格	看護専任教員 看護師 病院・訪問看護ステーション勤務8年	
履修年次	3年 前期		評価方法	筆記試験
単位数(時間数)	1単位(30時間)		授業形式	講義

<到達目標>

1. 健康障害を持ちながら地域で生活する対象者への看護について理解する。
2. 地域で暮らす人々を支援するための保健医療福祉機関の専門性と他職種連携・協働について理解する。

<授業内容>

- 第1回 今年度の講義目的と進め方 地域保健医療福祉活動の中の診療所の医療活動と看護活動1 2H
- 第2回 地域保健医療福祉活動の中の診療所の医療活動と看護活動2 2H
- 第3回 地域看護学実習のまとめと発表 2H
- 第4回 訪問看護ステーションの概要 2H
- 第5回 継続看護と保健医療福祉の連携 2H
- 第6回 在宅看護における基本技術 2H
- 第7回 在宅での医療技術 2H
- 第8回 在宅療養者の症状・病態別の看護1 2H
- 第9回 在宅療養者の症状・病態別の看護2 2H
- 第10回 在宅における終末期看護 2H
- 第11回 在宅療養者に対するアセスメント 2H
- 第12回 ロールプレイングの発表1 2H
- 第13回 ロールプレイングの発表2 2H
- 第14回 演習のまとめ 2H
- 第15回 訪問看護の活動の実際 地域看護学実習Ⅱのオリエンテーション 2H 講師:訪問看護師

<授業方法>

- 第1～10回講師作成のパワーポイントと教科書を用いて講義形式ですすめる。
- 第11回はグループワークを行う。第12.13回は在宅演習室でグループ毎発表する。
- 第15回は実習先の訪問看護ステーションの看護師の講義となる。パワーポイントを使用する。

<評価方法の詳細>

授業時間2/3以上の出席をもって筆記試験の受験資格が得られる。  
筆記試験は前期終講試験で100点で実施する。

<必携図書>

臺由桂他「ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア」メディカ出版  
「厚生指針増刊 国民衛生の動向」一般財団法人厚生労働統計協会

<自己学習のポイント及び参考図書>

保健所と保健センターの違いや介護保険、訪問看護ステーションの概要等の法律や制度は、一度で理解することは難しいため、講義で何度も触れますので、そのつど教科書を用いて確認できると良いでしょう。

<履修上の注意点>

教科書、国民衛生の動向、色鉛筆またはマーカーを持ってくる。

<学生に向けてのメッセージ>

在宅看護は、対象者のありのままの生活を受け止め、生活の場で看護を提供します。看護を提供する場が在宅だからこそ、その方の人生に触れる、携われるため、看護師としても人としても豊かになります。このような自己の成長を大きく促す在宅看護と地域看護の素晴らしさ奥深さを講義と実習で学びとってほしいと思います。

科目名	精神臨床看護 I		必修/選択の別	必修
授業担当者	佐藤 琢也 野田 北斗 中島 望 渡邊 茉衣子 山下 徹 瀬戸 恵理	実務経験と 関連資格	佐藤琢也(甲府共立病院 精神科医) 野田・中島・渡邊・山下・瀬戸(山梨県立北病院 精神科医)	
履修年次	3年 前期		評価方法	筆記試験
単位数(時間数)	1単位(30時間)		授業形式	講義
<b>&lt;到達目標&gt;</b> 精神に障害を持つ人の病態を理解し、社会参加を保障する治療や検査を学び、対象の人権を守る看護者としての態度を養う。				
<b>&lt;授業内容&gt;</b> 第1回 人間の心のしくみ、人格の形成 2H 講師:佐藤 琢也 第2回 精神病性障害(主に統合失調症) 2H 講師:山下 徹 第3回 社会の中の精神障害 各2H 講師:佐藤 琢也 第4回 診断と疾病分類 2H 講師:佐藤 琢也 第5回 精神科における治療 精神療法 2H 講師:佐藤 琢也 第6回 知的障害・人格障害(パーソナリティ障害) 2H 講師:渡邊 茉衣子 第7回 精神科における治療 薬物療法, 電気けいれん療法 2H 講師:佐藤 琢也 第8回 生理的障害(摂食障害と睡眠障害) 2H 講師:中嶋 望 第9回 各発達課題であらわれやすい精神障害・心的不調 認知症, せん妄 2H 講師:佐藤 琢也 第10回・第11回 統合失調症 看護師国家試験問題解説 4H 講師:佐藤 琢也 第12回 神経性障害 パニック障害, 強迫性障害, PTSD 1H 講師:瀬戸 恵理 第13回 精神作用物質使用による精神および行動の障害 2H 講師:佐藤 琢也 第14回・第15回 気分障害 うつ病と双極性感情障害 3H 野田 北斗				
<b>&lt;授業方法&gt;</b> 講師作成のパワーポイントと教科書を用いて講義形式ですすめる。				
<b>&lt;評価方法の詳細&gt;</b> 授業時間2/3以上の出席をもって筆記試験の受験資格が得られる。 評価は前期終講試験において合計100点の筆記試験を実施し評価する。				
<b>&lt;必携図書&gt;</b> 武井麻子「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学1 精神看護の基礎」医学書院 みんなのメンタルヘルス <a href="http://www.mhlw.go.jp/kokoro/">http://www.mhlw.go.jp/kokoro/</a> 厚生労働省ポータルサイト				
<b>&lt;自己学習のポイント及び参考図書&gt;</b>				
<b>&lt;履修上の注意点&gt;</b>				
<b>&lt;学生に向けてのメッセージ&gt;</b>				

科目名	精神臨床看護Ⅱ		必修/選択の別	必修
授業担当者	押領司 民 齊藤 公子 武井 千寿	実務経験と 関連資格	押領司(看護専任教員 看護師 看護学博士 病院勤務歴6年) 齊藤(山梨県立北病院 外来 地域看護専門看護師) 武井(山梨県立北病院 精神科看護師)	
履修年次	3年 前期		評価方法	筆記試験
単位数(時間数)	1単位(30時間)		授業形式	講義

<到達目標>

1. 精神の健康問題に直面している患者に対する看護の役割を学ぶ。
2. 精神に障害をもつ人の社会参加のために、保健・医療・教育に従事する人々がどのような役割を果たしているか、また、家族や地域住民も含めた、ネットワークを理解し、看護の役割について学ぶ。
3. 精神障害の病態を科学的にとらえ、生活史を総合し対象を捉える重要性について学ぶ。

<授業内容>

- 第1回 精神障害と治療の歴史・法制度 2H 講師:押領司民  
 第2回 ケアの原則と方法 患者-看護師の関係のアセスメント 2H 講師:押領司民  
 第3回~5回 心病む人とその家族、および生活支援員の話し(当事者授業) 6H 講師:押領司民  
 第6回・第7回 統合失調症患者の看護 4H 講師:武井 千寿  
 第8回・第9回 うつ病患者の看護 行動性制限最小化と人権 各種の非特異的症状 4H 講師:武井千寿  
 第10回・第11回 自殺念慮への対応 薬物療法 4H 講師:武井千寿  
 第12回・第13回 心病む人の生活支援 4H 講師: 齊藤公子  
 第14回・第15回 精神看護学実習Ⅰのまとめの発表会 4H 講師:押領司民

<授業方法>

講師作成のパワーポイントと教科書を用いて講義形式ですすめる。

<評価方法の詳細>

授業時間2/3以上の出席をもって筆記試験の受験資格が得られる。  
 評価は前期終講試験において合計100点の筆記試験を実施し評価する。

<必携図書>

武井麻子「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学1 精神看護の基礎」医学書院  
 武井麻子「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学1 精神看護の展開」医学書院

<自己学習のポイント及び参考図書>

医学映像セレクトの視聴  
 「看護-目で見える精神看護(第2版) Vol.1 精神科医療と福祉の現状」  
 「医学-Vol.1 精神機能と障害 医療-精神疾患・障害の基礎知識」「Vol.3 統合失調症」「Vol.4 うつ病、双極性障害」

<履修上の注意点>

第3回~第5回は当事者授業となる。欠席した場合は、代替が必要となるため、注意すること。  
 また、当日は教室内を整え、失礼が無い態度で迎えること。

<学生に向けてのメッセージ>

精神病院では、年々入院期間短縮され、早期退院が可能になっている。しかし、入院患者全体の50%は5年以上の入院であり、長期入院患者の層と、早期退院患者の層の2極分化が進んでいる。私達医療者は、心病む人たちの立場に立って、地域生活を支える続けることが求められている。

科目名	看護管理学		必修/選択の別	必修
授業担当者	水上さつき 角野加代子 村松裕子	実務経験と 関連資格	認定看護管理者	
履修年次	3年 前期		評価方法	総合評価
単位数(時間数)	1単位(20時間)		授業形式	講義
<b>&lt;到達目標&gt;</b>				
1. 看護管理の目的, 機能, 看護管理者の役割がわかる。 2. チーム医療や多職種との連携・協働におけるメンバーシップ, リーダーシップのあり方がわかる。 3. 講義で理解した看護管理が実際の臨床の場でどのように発揮されているか説明できる。				
<b>&lt;授業内容&gt;</b>				
第1回 人々の生活と看護のかかわり 2H 第2回 看護管理の基本となるもの 2H 第3回 看護師の仕事とその管理 2H 第4回 看護の質向上 2H 第5回 看護管理に求められる能力 2H 第6回 看護職とキャリア 2H 第7回 看護と経営 2H 第8回 看護活動をとりまく法律・制度 2H 第9回・10回 統合実習まとめ 4H				
<b>&lt;授業方法&gt;</b>				
第1～8回講師作成のパワーポイントと教科書を用いて講義形式ですすめる。場所は教室を使用。 第9.10回は統合実習Ⅱで得られた看護管理の学びを実習グループでの演習を通して整理する。				
<b>&lt;評価方法の詳細&gt;</b>				
授業時間の2/3以上の出席, 提出物, 授業態度によって評価し, 単位を認定します。				
<b>&lt;必携図書&gt;</b>				
ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践①看護管理第4版,MCメディカ出版				
「厚生指増刊 国民衛生の動向」一般財団法人厚生労働統計協会				
<b>&lt;自己学習のポイント及び参考図書&gt;</b>				
得た経験や知識から学びを深化させます。実習とつながっているという意識をもって授業に臨んで下さい。 進度が速いので, 教科書は前もって目を通して置くこと。				
<b>&lt;学生に向けてのメッセージ&gt;</b>				
看護管理というと「自分とは関係のないこと」と感じる学生も多いと思いますが, 現代医療においては, 経営は全職員が関わるものとしてとらえられています。8月の統合実習Ⅱで病院で実際に行われている看護管理について学びますので, その事前学習的な位置づけの科目になります。この学習を通して看護管理が身近な課題になることを期待します。				